

1 構想策定の基本的な考え方

- **構想策定の趣旨** 生徒一人ひとりが個性や特性を生かし、諸課題の解決に向かい、たくましく未来を切り拓くことができる力を育む高校づくりの施策の方向の明確化
- **構想の位置付け** 「山梨県教育振興基本計画」に基づき、「魅力ある高校づくり」推進の指針
- **構想の期間** 令和2年度～令和11年度

高校教育を取り巻く課題

- 社会・経済のグローバル化
- 情報技術(ICT)の飛躍的進展
- 先端技術の革新(AI・ロボット)
- 少子化の進行

構想策定上の視点

- 可能性に挑戦するために必要な力の育成
- 地域社会の持続的な発展を牽引する多様な力の育成
- 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネット
- 教育推進のための基盤の整備

2 学校のあり方

学校の規模

- 適正規模は1学年
160～320人

地域における学校のあり方

- 地域の実情や地域のニーズに配慮
- 職業学科は全県的バランスを考慮

公私のあり方

- 長期的な視点で学校づくりを推進
- 公私それぞれの役割や特徴を踏まえ、協調しながら教育振興

3 入学者選抜制度

全県一学区制度の維持

前期・後期・再募集制度の維持

4 魅力ある高校づくり

課題と方向性

グローバル化への対応

- 國際理解や國際競争力の向上
- 外国籍生徒の受け入れ体制整備
- 外国籍生徒向けコースの設置

将来のイバーソンリーダー・グローバルリーダーの育成

- 大学等と連携した先端技術の学習や探究的活動
- 専門教育学科・普通科コースの展開
- 中高一貫教育の活用検討

地域産業を支える産業人材の育成

- ローカルリーダーの育成
- 企業と連携した教育の展開
- 学科横断型学習の展開
- 時代の要請に合わせた学科改編と地域を牽引する人材育成の推進

多様なニーズへの対応

- 不登校生徒等の受け入れの推進
- 入試制度の改善や受入体制の整備
- 定時制・通信制の活用

多様な人材の育成

- ニーズを反映した学科設置や改編、普通科コース制の多様化
- 各高校、各学科における特色化の推進

ICTの活用

- ICT機器の導入と活用
- 情報リテラシー教育の充実
- 個々の生徒に応じた質の高い学習の実現
- 教員の業務負担軽減

地域との連携

- コミュニティスクールの導入推進
- 地域貢献する意識の醸成
- ローカルリーダーの育成
- 地域活性化の拠点として協働を促進

学科・課程

普通科

- コース制
キャリア型のコース設置
- 単位制
特徴を活かした特色化

専門教育学科

- 先端科学技術の学習
- 論理的思考力、課題探究力の養成

総合学科

- ニーズを反映した系列の展開
- 学科横断型学習の展開

定時制

- 多部制、単位制、三修制の維持

通信制

- ICTの活用推進
- さまざまな学び方の検討
- 学び直しなどの学習二段階への対応

専攻科

- 高い実践的な技術を有する人材の育成
- 工業高校と5年一貫の職業教育の展開

学校の形態

総合制高校

- 多様性を軸に地域に根ざした学校づくりの推進
- 幅広い科目選択の開設
- 学科横断し諸活動の展開

不登校生徒等の受入

- 不登校等を経験した生徒の受入のあり方の検討（コードスル）
- 体験的学習や資格取得等を通じ生きる力の育成

中高一貫教育

- 連携型の効果の検証
- 併設型中高一貫、中等教育学校等の研究

コミュニティスクール等

- コミュニティスクールの導入推進
- 地域人材の活用
- 地域に開かれた学校づくりの推進

学校運営

学校経営

- 学校経営計画の策定
- 「チームとしての学校」の推進
- ICTを活用し合理化、負担軽減

全国から生徒の募集

- 学校の活性化
- 地域の活性化
- 教育効果の向上
- 産業人材の確保